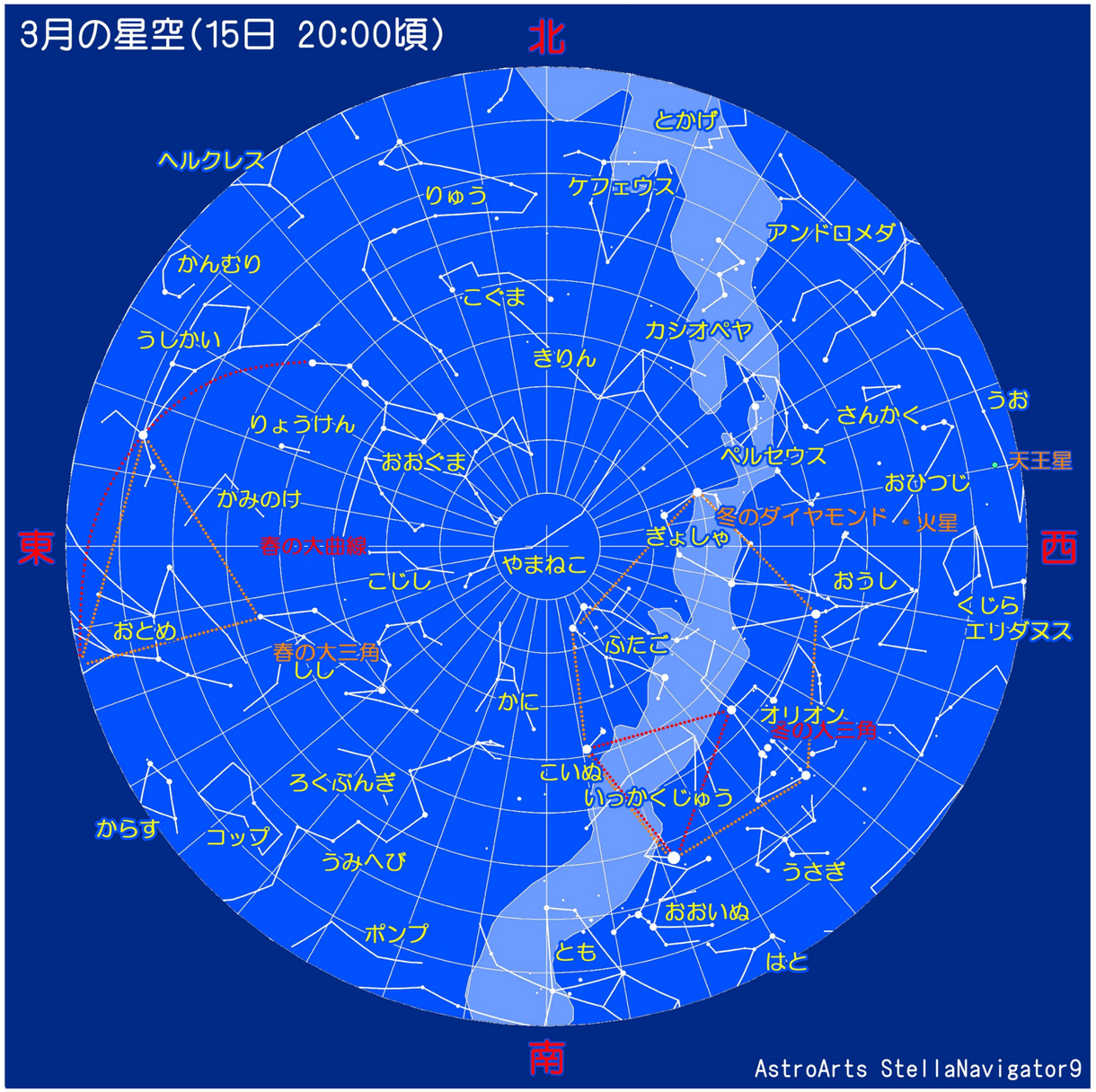
銀河の森天文台
2019年3月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M97（惑星状星雲）

ぼんやりと見える丸い光の中に暗い部分が２つありその様子がふくろうの顔を連想させることから「ふくろう星雲」と呼ばれています。北斗七星のひしゃくの底部分の星（β星）のすぐ横に位置しています。

大きな惑星状星雲ですが、淡い星雲であるために、ふくろうの目にあたる２つの暗い部分を見るのは少々難しく、空の状態が悪い時には見えないこともあります。

距離：約1800光年

M97

月

		出	没
7日	●新月	06:22	17:49
14日	◐上弦	09:48	00:05
21日	○満月	17:44	05:50
28日	◑下弦	00:35	10:01

天文台から月を見ることができるのは9～22日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M44（散開星団）

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることができます。星団である事を発見したのは、あのガリレオ・ガリレイです。アイヌも古くからこの星団を知っておりエルムン・プ（ねずみの倉）と呼んでいました。

距離：約590光年

M82（銀河）

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい３つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

NGC2392（惑星状星雲）

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」とよばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ、フードに例えられた部分も見えてきます。

距離：約1360光年

M66（銀河）

しし座後ろ足に位置する銀河で、低倍率ではM65、NGC3628の３つの銀河を一度に見ることができます。りくり望遠鏡では中心部から２本の腕が伸びた様子を見ることができます。

距離：約2700万光年

かに座ι（イオタ）（重星）

春の空で色の対比が美しい二重星と言えばこの星です。かに座の右のはさみのところで輝く４等星で、黄色と青色の色の対比が印象的です。

距離：約298光年

ちょっとマニア

・M51（銀河）の腕

子持ち銀河として有名なM51は、渦を巻いた腕の部分が比較的見やすい銀河です。渦を巻いた腕や、条件が良ければその腕がNGC5195へとつながっている様子を観察することができます。

距離：約2100万光年

その他おすすめ

- M35（散開星団）
- M41（散開星団）
- M42（散光星雲）
- M46, 47（散開星団）
- M81（銀河）
- アルギエバ（重星）

3・4月の銀河の森天文台カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日